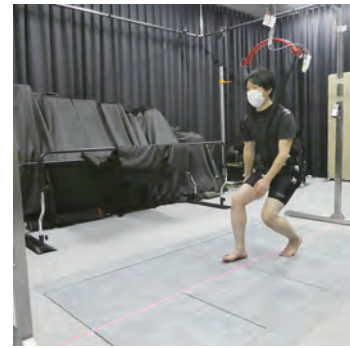


研究開発・臨床評価



【リフト用スリングの評価】
自立支援に向けて、ご本人の残存能力を活用するために開発されたスリングに関して、使用時の姿勢や動作に関する評価を、三次元動作解析装置を用いて実施しました。
(株)モリト一

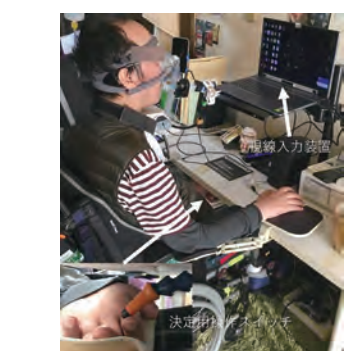
【補装具装着訓練等支援事業】
補装具「重度障害者用意思伝達装置」の判定にあたり、機器の適用を見極めるための装着訓練を適切に実施するために必要な機材、人材、教育、専門機関の連携等をまとめたマニュアルを作成しました。(株)厚生労働省

【UNI-CUBβの利用対象者拡大】
新しい移動機器(パーソナルモビリティ)としてホンダが提案しているUNI-CUB(ユニカブ)をベースにして高齢者・障害者が安全に乗降して操作できる次世代モデルUNI-ONEを共同開発しました。(株)本田技研研究所

【椅子の工夫】
二分脊椎の方から職場の事務椅子では身体が支えられず長く座ってられないとの訴えがあり、胸受け・肘置き・足置きがある椅子の紹介と、その椅子をご本人の身体に合うように調整をおこないました。

【滑り止め付き手袋の応用】
高位頸髄損傷者の安定した電動車椅子操作を目的に、「指先なし滑り止め付き手袋」を活用しました。装着が容易なうえ、電動車椅子の操作部(U字ジョイスティック)上で手が滑らなくなり、操作が安定しました。

【吊具改造用幅広ベルト】
リフトで吊り上げた際の安定した姿勢を保持するために、吊り具の左右を寄せ止める面ファスナー付き幅広ベルトを提案しました。その結果、身体への接触面積が増え、密着感が増したため、姿勢が安定しました。



【介護ロボット相談窓口(厚生労働省からの委託事業)】
昨年度に引き続き、厚生労働省による「介護ロボットの開発・実証・普及のプラットフォーム事業」における相談窓口を実施。反町福祉機器支援センターに加えて、中山、泥亀福祉機器支援センターにも介護ロボットコーナーを常設。個人、介護サービス事業者、メーカー、自治体、学校等からの見学に対応しました。また、オンライン研修の開催や、国際福祉機器展やテクニカルショーへの出展、国際ロボット展等での事業報告などで、普及に取り組みました。(株)厚生労働省

【車椅子用クッションの開発】
(株)JSPが開発中の車椅子用クッションMi:kla(ミークラ)の専門職評価を実施し、座圧分布測定や座りごころ、車椅子操作のしやすさ等を評価し、製品化に向けたアドバイスをさせていただきます。(株)JSP

【マルチマウスの開発協力】
操作スイッチを使いマウスポインターを画面上で移動させ、クリック等も入力可能。また画面上の任意の位置を記憶し、直接目的の場所にマウスポインターを移動させることができます。丸山電機

【防音マットの実験】
2020年に製品化した防音マット(yマット)の品質向上に向け、様々な組み合わせのクッション材を用いて、床衝撃音の実験を繰り返し、新商品の開発をしています。田島ルーフィング(株)、大成建設(株)

【ゲームコントローラーの片手操作】
片麻痺の利用者が、PS5のゲームをしたいとの希望があり、WEBサイトで配布されている片手操作ゲームコントローラーのアタッチメントを、研究開発課の3Dプリンターで作製して試用しました。

【視線入力装置】
上肢によるマウス操作が困難になってきたため、「視線」でマウスポインターを動かしてクリック等をおこなうための視線入力装置とタッチスイッチを導入しました。作図作業を手掛ける在宅就労が可能になりました。

【就労支援】
右手首と左肩の僅かな動きからパソコンを操作するため、「スイッチブスター」と「マウスエミュレーター」を導入しました。企業の広報ビデオ製作の業務を在宅でおこなうことができました。



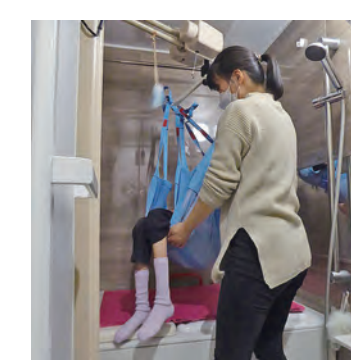
【浴槽レス浴室の研究】
冬場に高齢者が浴槽で溺れる事故が多発しています。その解決方法のひとつとして、浴槽のない浴室(シャワーブース等)の開発が進んでおり、その基準作りに協力しています。
国土技術政策総合研究所

【ニーズ&アイデアフォーラム】
医療・福祉系、デザイン系、工学系の異なる学校の学生が混成チームを作り、障害のある人のニーズを探りながら支援機器のアイデアを考え、形にする事業の協力をしています。国立障害者リハビリテーションセンター

【テクニカルショーヨコハマ2022】
「テクニカルショーヨコハマ2022」(第43回工業技術見本市)に出展しました。2022年2月2日から3日間のリアル展示および9日間のオンライン展示。介護ロボットを中心に当該の技術や実績等を紹介しました。

【国際福祉機器展(H.C.R.2021)】
パンフレット「住まいの音環境対策ハンドブック」を作成しました。国際福祉機器展(H.C.R.2021)の子ども会場ブースにて建築相談の実施と併せてこのパンフレットを配布しました。
(一財)保健福祉広報協会

【国際福祉機器展Web2021】
国際福祉機器展Web2021(国際福祉機器展)に協力しました。「子どもの椅子(座位保持装置・バスチェア・トイレチェア)選び方のポイント」の冊子を作成し、webサイトから無料でダウンロードできます。(一財)保健福祉広報協会



【住宅改造-小児疾患】
屋内から公道や駐車場まで車椅子で移動できるよう、駐車場横(屋外)と玄関間に段差解消機を設置しました。屋外の段差解消機は昇降高さが高いため、転落防止用の門扉も設置しています。

【住宅改造-神経系疾患】
ヘルパー2人または母1人で抱きかかえて、座位保持装置から洗い場床、浴槽を利用していました。浴槽上を洗い場スペースとするためバスボードを活用し、リフト設置により抱きかかえの介助負担を軽減しました。

【住宅改造-発達障害】
排泄時にトイレの床や壁を汚してしまう行動が見られ、家族は掃除に苦しんでいました。そこで、床のシートを壁面に巻き上げて施工する工法を採用し、掃除がしやすくなるように配慮しました。